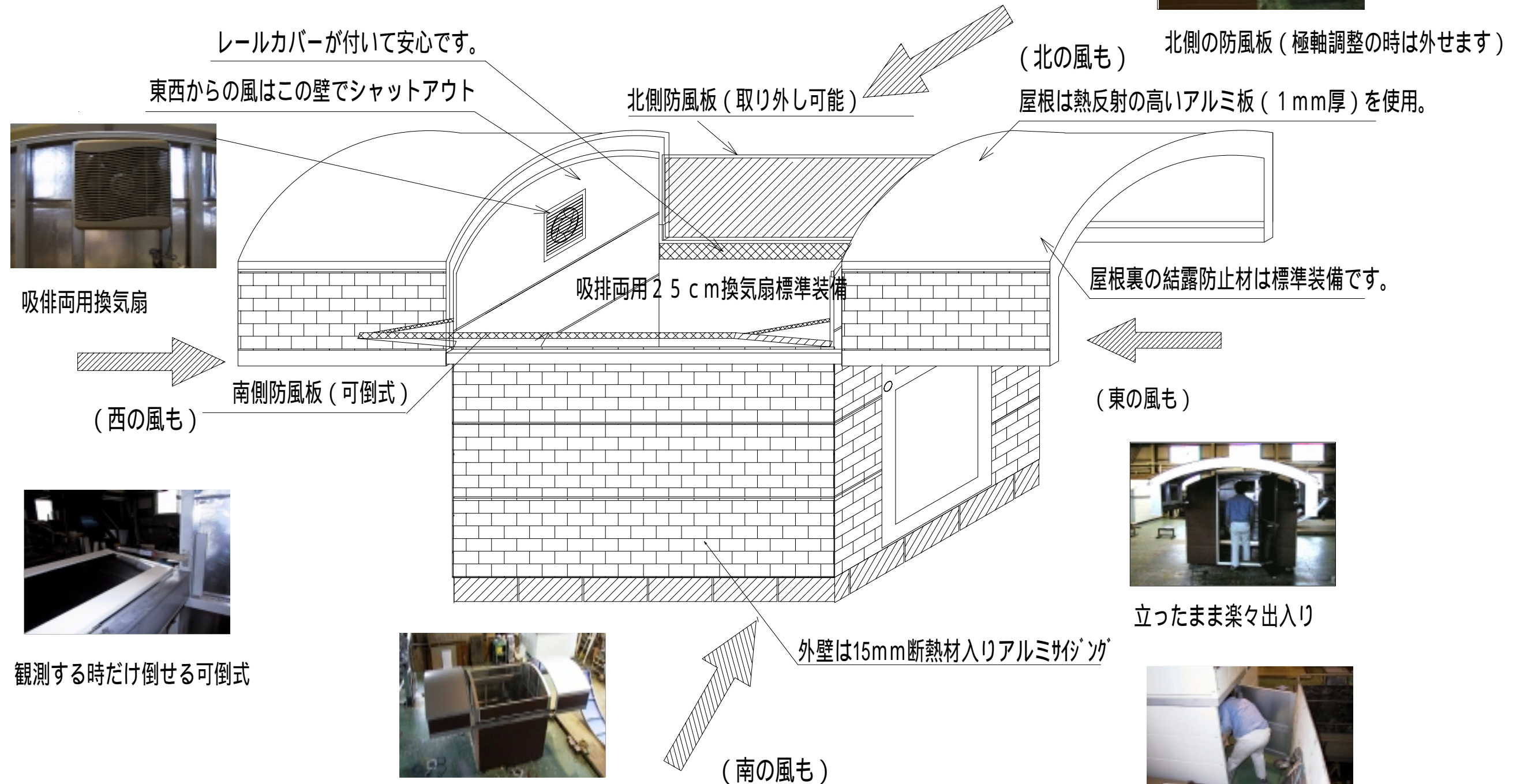
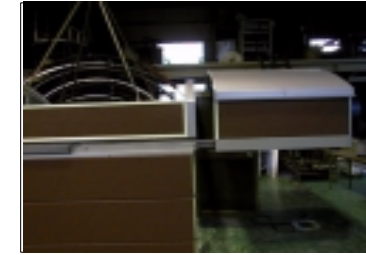


レール収納式スライドルーフSRS 2020スーパー



吸排両用換気扇



観測する時だけ倒せる可倒式



外壁は15mm断熱材入りアルミサジツク



立ったまま楽々出入り



今まではかがんで入っていました

基礎寸法は通常の基礎と同じです。

スライドルーフスーパータイプ (SRS) の特徴について

近年ドームを作られる方とスライドルーフを作られる方が半々になってきました。理由の一つには、下の写真のように望遠鏡を複数置きたいと言われる方が多くなって来ています。その他にも、ドームから見ると星座の形や、流れ星等がよく見えます。

今までのスライドルーフには次の問題がありました - - - - 解決の形です

1. 観測室からレールが出るので設置スペースが倍必要でした---レール収納式のため外に出るレールはなく観測時以外はスペースが最小で済みます。
2. とにかく冬の時期寒い----風があると体感温度はずいぶん違います。屋根を解放しても東西南北に防風壁が設けてありますので寒さは軽減されます。
3. 出入りがしにくい----殆どのスライドルーフは屈んで入る方式ですが、スーパータイプは違います。立ったまま少し首を曲げれば出入りできます。
4. スライドルーフはドームに比べて材質が劣る----いえいえ、外装材(屋根・壁)は全て熱反射率の高いアルミを使用、骨組みも亜鉛処理をした角パイプで防錆に威力を発揮します。
屋根裏には厚さ4mmの結露防止材(ワトロン青色)が貼ってあります。
5. 普段締め切りで換気が心配----換気扇はオプションではなく標準装備しています。しかも吸気と排気が両方出来る優れ物です。温度センサー(別売り)を付ければ暑くなれば自動的にスイッチが入り気温が下がれば自動的に切れることも出来ます。(温度センサーはネットでhttp://www.taroto.com/fan/national/buzai_suichi.htmlで売っています。送料込みで8,000円位です)

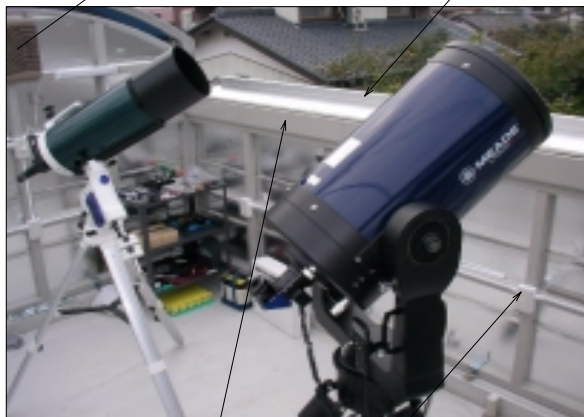
屋根は厚さ1mmのアルマイト処理済みアルミ板

北側の防風板は固定式ですが取り外す事は出来ます

南側の防風板は倒れて視界が広がります。

吸排両用換気扇標準装備

南側防風板--南の低空を観測する場合は倒して観測します。



レールカバーが付いて室内からはレールが見えません

出入り口のドアは高さが高く屈まずに出入りできます

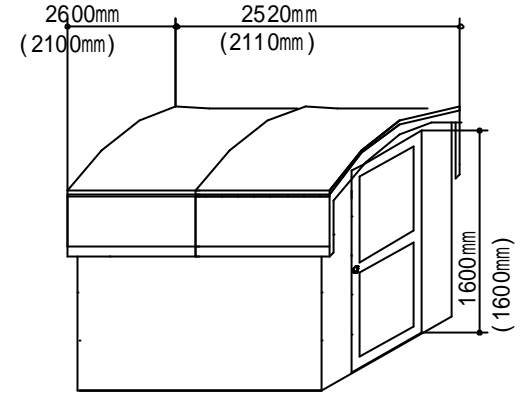
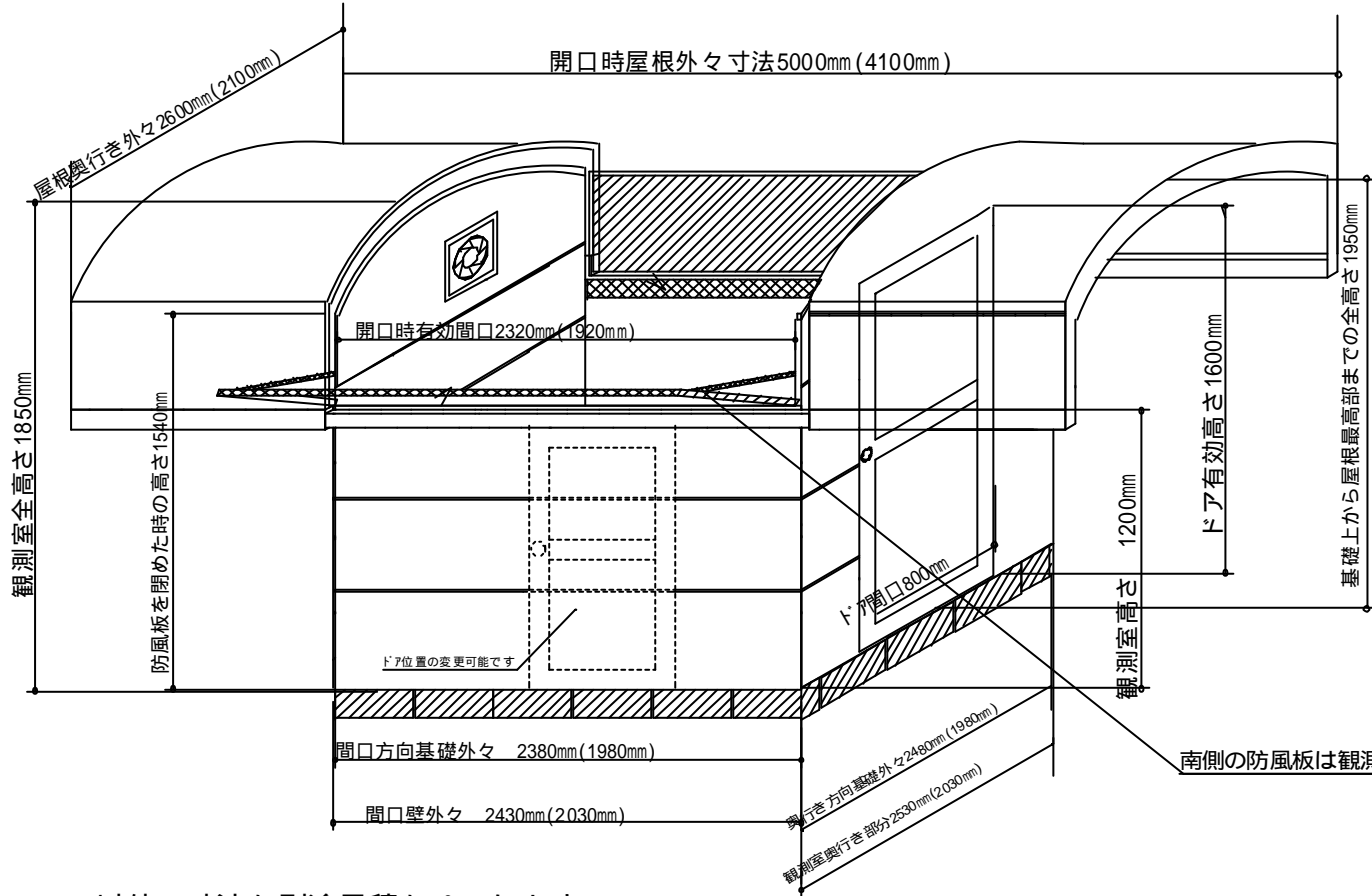
電気配線はお客様の方でされた工事です

外壁材・屋根材は熱反射率の高いアルミを使用しています。

屋根裏には結露防止材(ワトロン4mm青色)が貼ってあります

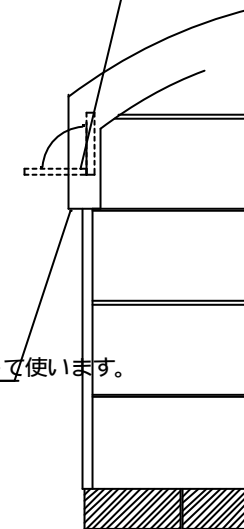
スライドルーフ 2524型-パ°-各部寸法図 (カッコ内は2020の寸法)

基礎寸法はスタッドタイプ基礎と同じです。



閉じた状態の寸法

南側の防風板は観測時に倒して使います。



2020, 2425以外の寸法も別途見積もりいたします。

組み立てはクレーンがあれば素人のかたでも出来ます。

2020, 2524共組み立てたままの配達も出来ます (4 tトラックとクレーンが入るスペースが必要です。)